令和８年９月度　理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　　令和８年８月２７日（木）
２．開 催 日 時　　令和８年９月２５日（金）　１５時３０分～１７時００分
３．開 催 場 所　　専売ビル　８階　会議室１
４．理 事 総 数　　２４人
５．監 事 総 数　　３人
６．出席理事数　　１６人（本人出席１６人）
７．出席監事数　　３人（本人出席３人）
８．出席理事の氏名
嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、川村 道夫、安室 篤志、熊木　宏、二瓶　啓、上島　健、川崎 一郎、藤江　潤、山田　毅、横山 聡洋、竹内 博次、秦　研二、藤田 亮則、後藤 章洋
９．出席監事の氏名
北田 智也、吉池 一樹、山口 直延
１０．出席組合員の氏名
なし
１１．議長の氏名
嶋崎利行
１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、嶋崎理事長が議長となり開会を宣し、ただちに議事に入った。

第１号議案　台湾金属熱処理学会来日対応の結果報告について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき説明があった。令和８年９月１０日（木）、台湾金属熱処理学会一行（２１名）を迎え、午前１０時から第一熱処理工業株式会社本社・船橋工場の見学（東部側３名参加）を実施した旨、報告があった。午後は幕張メッセで開催中の「第１回エネルギー展」等のイベントを見学した後、１７時からホテルニューオータニ幕張にて懇親会（東部側１１名、台湾側１７名出席）、１７時３０分から同ホテル内で二次会（東部側１０名、台湾側１５名出席）を開催し、カラオケ等を通じて交流を深めた旨、説明があった。懇親会・二次会には、当日別行事に参加していた南副理事長及び池田理事も二次会から合流した旨、あわせて報告があった。費用については、ホテル代等の総額が約１１８万円であり、台湾側からの負担金（１名３万円×１７名で計５１万円）及び東部側参加者からの負担金（２次会まで参加４万円、懇親会のみ参加３万５千円、２次会のみ参加３万円で計４４万５千円）を差し引いた組合負担額１７８，６７９円について、理事会の承認を求める説明があった。あわせて、台湾側より、本年１２月に台湾南部で開催予定の台湾金属熱処理学会主催行事（３日間程度、日程調整中）への参加案内を受けている旨、報告があった。

特段の質疑はなかった。

嶋崎議長は、今回の交流が例年以上に活発なものとなったこと、及び今後の交流の継続については次世代の役員に委ねていく考えである旨、述べた。

嶋崎議長は、台湾金属熱処理学会来日交流に係る組合負担額（１７８，６７９円）について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。本年１２月の台湾側行事への対応については、詳細確定後、改めて検討することとした。

第２号議案　（一社）日本金属熱処理工業会：外国人技能実習制度について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事より資料回覧に基づき、外国人技能実習制度の評価試験実施状況について説明があった。本年度の受験者数は現時点で約８７名であり、工業会が当初見込んだ目標（１００名）に迫っている状況である旨、報告があった。初級合格者が翌年専門級を受験することで在留期間が延長される仕組みがあり、専門級の申込みも増加傾向にある旨、説明があった。技能実習制度は令和９年３月３１日をもって新規受入れが終了するが、既存の実習生は在留期間が満了するまで制度が継続する。令和９年４月１日からは、就労を目的とする新制度「育成就労」が開始される予定であり、金属熱処理業界においても受入れが可能となる見込みである旨、説明があった。

横山理事より、埼玉県内の非組合員企業を訪問した際の状況について報告があり、日本語能力に課題がある一方、当該企業が組合の教育事業に関心を示している旨、紹介があった。

外国人材の受入れに積極的に取り組んでいる後藤理事から、送出機関・受入機関の選定の重要性、宗教・生活習慣への配慮、定着率向上に向けた工夫（家族の呼び寄せ等）について、実体験に基づく意見が多数出された。

嶋崎議長は、日本人の新規採用が困難となる中、外国人材の受入れは組合として避けて通れない重要な選択肢である旨、認識を共有した。

本件については、報告事項として了承した。

第３号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事より、資料に基づき、令和８年９月７日開催の令和８年度第１回正副部会長会議の内容について説明があった。「組合まつり　ｉｎ　ＴＯＫＹＯ」（１０月２８日・２９日、東京国際フォーラム）については、本年度から施工業者及び申込方式（電子申請）が変更となった旨、日程（１０月２７日搬入・設営、２８日・２９日開催）、展示内容（日本刀展示、熱処理クイズ、熱処理体験等は例年どおり実施）について説明があった。運営体制については、これまでの２交代制から３交代制に変更する旨、報告があった。「出前授業」（東京都立多摩工科高等学校、１２月１６日（水）実施予定）についても報告があり、神奈川県内工業高校への展開は継続してアプローチしている旨、あわせて説明があった。

山田部会長より、「組合まつり」は熱処理業界の認知向上を、「出前授業」は次世代の人材獲得・育成をそれぞれ目的としており、いずれも業界の活性化という共通の目的につながる旨、補足があった。

嶋崎議長は、両事業とも組合の人材確保という大きな目的につながる重要な取組みである旨、述べ、引き続き積極的に取り組むよう求めた。

本件については、報告のとおり了承した。

第４号議案　委員会活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事より、資料に基づき、各委員会の活動状況について説明があった。

（１）第２回 BCP 推進 WG（８月１９日開催）

新潟県中越地震クラスの震災を想定した初動対応訓練について内容見直しを行い、１０月から１１月頃の実施を目指している旨、報告があった。あわせて検討していた東北地方の被災地視察については、日程調整が難航したため本年度秋の実施を見送り、来年春以降の実施を目指すこととした旨、説明があった。

（２）第２回総務委員会（９月４日開催）

本年度のセミナーについて、AI 活用をテーマにより発展的な内容とする方向で講師選定を進めている旨、あわせてサプライチェーン強化に向けたサイバーセキュリティ対策評価制度（ＳＣＳ評価制度）についても取り上げる方向で検討している旨、報告があった。AI セミナーは東京都中小企業団体中央会の団体連携型 DX 人材育成推進事業（費用の３分の２を支援）を活用する予定である旨、説明があった。

（３）令和８年９月度技術・品質合同委員会（９月９日開催）

初級熱処理塾（９月１７日開始）の参加状況、修了要件（試験６０点以上・出席率８割）の運用について報告があった。ISO 内部監査員養成研修会（１１月２５日・２６日、オンライン開催、１１社２４名申込み）及び工場見学会（１１月１３日、ファナック株式会社本社工場・山梨県、三島駅集合）について報告があった。次回委員会は工場見学会とは別日に、１１月２４日にオンライン開催する旨、あわせて報告があった。委員会終了後、東京都立産業技術研究センターとの業種別交流会を例年どおり開催した旨、報告があった。

藤田理事（技術委員長）より、各講習会の参加人数が減少している旨の課題提起があり、開催方法・内容・広報方法について見直しが必要である旨、意見があった。

（４）マーケティング委員会（９月１５日開催）

委員長を務めていた吉井氏（第一高周波工業株式会社）が退職により委員長を退任することとなり、田村副委員長が委員長代行として本年度の残任期間を務め、来年度改めて委員長・副委員長を選任することとした旨、報告があった。あわせて、新たに第一高周波工業株式会社の小林氏が委員に加わった旨、紹介があった。営業担当者向け AI 活用セミナー（１１月２０日、ビジョンセンター田町）の開催準備状況について説明があった。加工単価・運送費等調査の回収率が３８．９％と、前回（令和６年度）から約１０ポイント低下し低調であった旨、報告があった。

嶋崎議長は、各委員会の活動状況について報告のとおり了承した。

第５号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事より、資料に基づき、令和８年度「売上高調査」への協力依頼（回答期限：１１月２７日、直近決算時の数値で回答可）について案内があった。

令和９年新年賀詞交歓会（令和９年１月２８日（木）、レベル２１東京會舘、（一社）日本金属熱処理工業会と共催）について案内があった。

第４５回日熱会（令和８年１１月５日（木）・６日（金）開催、東部から１１名参加、うちゴルフ参加１０名）について報告があった。次回（令和９年、第４６回）は東部組合が幹事となる旨、あわせて協力の呼びかけがあった。

嶋崎議長より、金属熱処理スーパーマイスタープログラムの成績判定会議が終了し、対象者全員が合格となった旨、１０月１７日（土）に東京科学大学にて修了証書授与式を実施する旨、報告があった。次期（第１０期）の募集を開始するにあたり、大学側からは、定員２０名のうち最低１６名以上の応募がなければ実施しない旨言われていることから、組合員企業への協力の呼びかけがあった。

最後に、安室専務理事より、南副理事長が令和８年度東京都功労者表彰を受賞することが決まった旨、紹介があり、出席者から祝意が示された（表彰式：１０月１日、東京都庁）。

以上について、いずれも報告事項として了承した。

曽根副理事長より、審議の効率化に協力いただいたことへの謝辞とともに、季節の変わり目における出席者の健康への配慮を呼びかけるあいさつがあった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、曽根副理事長より閉会を告げ、散会した。

令和８年９月２５日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎　利行　㊞

出席理事　曽根　光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　川村　道夫　㊞

〃　安室　篤志　㊞

〃　熊木　宏　㊞

〃　二瓶　啓　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　川崎　一郎　㊞

〃　藤江　潤　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　横山　聡洋　㊞

〃　竹内　博次　㊞

〃　秦　研二　㊞

〃　藤田　亮則　㊞

〃　後藤　章洋　㊞

出席監事　北田　智也　㊞

〃　吉池　一樹　㊞

〃　山口　直延　㊞